



チョーライ病院に対する新型コロナウイルス感染症対策のための医療機材整備支援

2021年11月5日

国際協力機構(JICA)ベトナム事務所

11月5日、ベトナム南部地域における新型コロナウイルス感染症対策支援として、JICAは、チョーライ病院への医療機材の第1バッチ(超音波装置:2台、患者監視装置:20台、人工呼吸器:10台、可動式デジタルX線装置:1台)の引き渡しを行いました。本支援は、7月にチョーライ病院からの要請を受けて、同病院が担う新型コロナウイルス感染症患者の診断・治療に必要な機材支援を行うことを決定し、実施したものです(総額1億2千万円相当、全3バッチに分けて21年度内に引渡し予定)。

ホーチミン市では、4月下旬からの新型コロナウイルス感染症の第4波も徐々におさまりつつあります。一方で、長い間の経済活動の停止によりホーチミン市から帰郷した人々経由で地方の感染拡大が起こっていることから、チョーライ病院は引き続き各地方省への支援を行っています。オンラインで引き渡し式に参加したJICAベトナム事務所清水所長は「第4波に対し、チョーライ病院医療従事者の皆様が日々重責に果敢に取り組まれる姿に心を打たれました。本支援が、チョーライ病院を通して、ベトナム南部地域の医療を支える一助となることを期待します」と述べました。これに対し、チョーライ病院のグエン・チ・トゥック院長は「JICAの、新型コロナウイルス感染症に対する支援は、昨年が続いて2回目となる。今回の資機材は、ICU、熱帯病科、院内感染対策科、微生物科で使用するもの。迅速な支援に、チョーライ病院を代表して、またベトナム国民の一人として感謝申し上げる。この困難を日本とともに乗り越えてまいりたい」と述べました。

チョーライ病院と日本の関わりは1970年代に始まりました。その後もJICAの技術協力による支援が継続して行われています。2016年に開始された「チョーライ第二病院向け病院運営・管理能力向上支援プロジェクト」では、ベトナム南部地域における質の高い医療サービスの提供を目指して、感染管理や患者安全管理の強化、多職種連携等の活動を支援しています。また、チョーライ病院に対する新型コロナウイルス感染症対策支援としては、昨年7月に続いて、今回が2度目となります。

JICAは引き続き、日本政府と連携し、新型コロナウイルスを含む感染症対策への支援に取り組んでまいります。

○本件に関する問い合わせ

国際協力機構(JICA)ベトナム事務所

11Fl., Corner Stone building, 16 Phan Chu Trinh, Hanoi, Vietnam

Tel: (+84-24) 3831 5005 (内線 137) 担当:高木